

農業者の設備投資意欲が過去最高 ～生産効率関連の農業機械投資が最多、後継者確保に課題も～ ＜平成28年下半期農業景況調査関連＞

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業が、ご融資先の担い手農業者^{（注1）}を対象に実施した「平成28年下半期農業景況調査」で、平成29年（以下、「29年」という。）の設備投資見込みやその内容について調査したところ、29年の設備投資見込みDI^{（注2）}は3.6と調査開始以来、最高値となりました（図）。

設備投資の内容は農業機械（58.8%）が最多で、続いて生産施設、農地の取得など生産関連が多くなっているのが特徴です。設備投資の目的に関しては省力化・生産効率化、規模拡大、設備更新の3つに集中しています。

また、設備投資に踏み切らなかった理由に関しては「現状維持でいい」が大半の一方で「後継者がいないため」といった切実な理由もあり、後継者対策に課題があると言えます。調査結果のポイントは以下のとおりです。

＜調査結果のポイント＞

○ 畜産で強い投資意欲、施設園芸等ではやや低く地域差も（表1）

29年の設備投資見込みDIは、28年（▲12.8）から16.4ポイント上昇して3.6と過去最高で、調査開始以来初のプラス値となり、農業者の設備投資意欲が高まっていることが分かりました。

業種別では畜産が全ての業種でプラス値となり、設備投資意欲が高くなっています。

一方、施設野菜（▲7.4）、施設花き（▲17.8）等の園芸品目や茶（▲8.6）、きのこ（▲5.4）はマイナス値となりました。施設野菜は地域差が大きく、北海道（47.8）、北陸（50.0）といった新興産地では投資意欲の高まりが見られます。

○ 農業機械投資は稲作、露地・施設野菜に集中、農地取得も（表2）

設備投資の検討内容について聞いたところ、全体では農業機械（58.8%）が最多で、続いて生産施設（37.6%）、農地（農地の取得：27.0%、農地整備：23.5%）と生産関連での回答が多く集まりました。

中でも、稲作や露地野菜等は定期的な機械の更新が必要なため、農業機械の割合が高く、畜産では畜舎の建設・整備等の生産施設の割合が高くなっています。果樹は加工施設の割合が35.6%と高く、6次産業化の動きを反映したものとみられます。

生産関連以外の項目では雇用対策が8.4%と高く、労働力問題への関心の高さがうかがえます。労働者不足を解消するため、宿泊施設を併設した農業用倉庫の建設などの具体的な投資に関する声も寄せられています。

○ 生産効率化投資に加え新商品・新技術への取組みや雇用対策投資も(表3、4)

設備投資の目的を聞いたところ、「設備更新」(43.9%)の他では「省力化・生産効率化のため」(50.6%)、「規模(生産)拡大のため」(45.4%)、と生産関連の回答が多くなりました。

一方で、茶や果樹は「新技術導入のため」(茶:19.7%、果樹:21.3%)及び「新たな商品の展開のため」(茶:12.7%、果樹:17.7%)の回答も多く、果樹であれば高糖度品種、茶では旨みや甘みの強い「おおい茶(※)」、のように商品の差別化の展開が期待されます。

また、設備投資の目的と検討内容を照らし合わせると、「流通の合理化」、「新たな商品の展開」や「法人化」を目的とする投資として、事務所の設置等の「雇用対策」への設備投資を行うとの回答が一定数あることが特徴です。(流通の合理化:21.4%、新たな商品の展開:16.8%、法人化:20.8%)。

(※) 玉露、てん茶、かぶせ茶など一定期間遮光した覆下(おおいした)茶園で栽培された茶葉を用いたものが「おおい茶」と呼ばれ、玉露やてん茶は高級茶として取り扱われる。

○ 設備投資を行わない理由は「現状維持」79%、後継者不足理由も(表5)

設備投資をしない理由としては、「現状規模を維持する方針のため」が最多となりました(79.0%)。一方で、「経営が逼迫しているため」との回答が畑作(24.3%)、茶(25.3%)で多くなっているのも特徴です。また、酪農については「後継者がいないため」(21.6%)、「必要な機能を外部委託するため」(13.5%)との回答が多く、後継者不足による担い手の減少、労働力のアウトソーシングが進むと考えられます。

地域別では北海道で「後継者がいない」(23.8%)、「経営が逼迫」(17.9%)、「外部委託」(10.6%)が他地域より高くなっており、労働力や経営内容を理由としている点が特徴です。

(注1) 認定農業者の経営改善の取組を後押しするスーパーL資金又は担い手農業者の新たな取組を支援する農業改良資金のご融資先

(注2) DIの算出方法については、添付資料P1の図に付記した注を参照

調査時期 平成29年1月

調査方法 往復はがきによる郵送アンケート調査

調査対象 スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち22,102先

有効回答数 7,379先 (回収率: 33.4%)

稲作(北海道): 868、稲作(都府県): 1,929、畑作: 633、露地野菜: 629、施設野菜: 596、茶: 162、果樹: 367、施設花き: 220、きのこ: 94、酪農(北海道): 307、酪農(都府県): 287、肉用牛: 479、養豚: 225、採卵鶏: 125、ブロイラー: 62、その他: 396

設問内容

質問1 今年(平成29年)の設備投資を

回答 ① 予定している ② 予定していない

質問2, 3は質問1で「①設備投資を予定している」と回答した方に伺います。

質問2 どのような設備投資を検討されていますか(複数回答可)

回答

① 農地の取得	② 農地整備
③ 農業機械(トラクタ、管理機等)	④ 生産施設(農舎、温室、畜舎等)
⑤ 選別・貯蔵施設(選別所、調製場等)	⑥ 加工施設(野菜カット場、加工工場等)
⑦ 販売施設(直売所等)	⑧ 雇用対策(事務所、研修施設等)
⑨ 環境対策(ふん尿処理等)	⑩ 再生エネルギー利用(太陽光、バイオ等)
⑪ その他(回答欄に内容をご記入ください)	

質問3 設備投資の目的は(複数回答可)

回答

① 設備更新	② 省力化・生産効率化のため
③ 新技術導入のため(新品種・生産方式等)	④ 規模(生産)拡大のため
⑤ 流通合理化のため(大ロット化等)	⑥ 新たな商品の展開のため
⑦ 法人化した(または予定している)ため	⑧ 後継者が就農した(または就農見込)のため
⑨ 従業員を雇用するため	⑩ 周辺環境の都市化に対応するため
⑪ その他(回答欄に目的をご記入ください)	

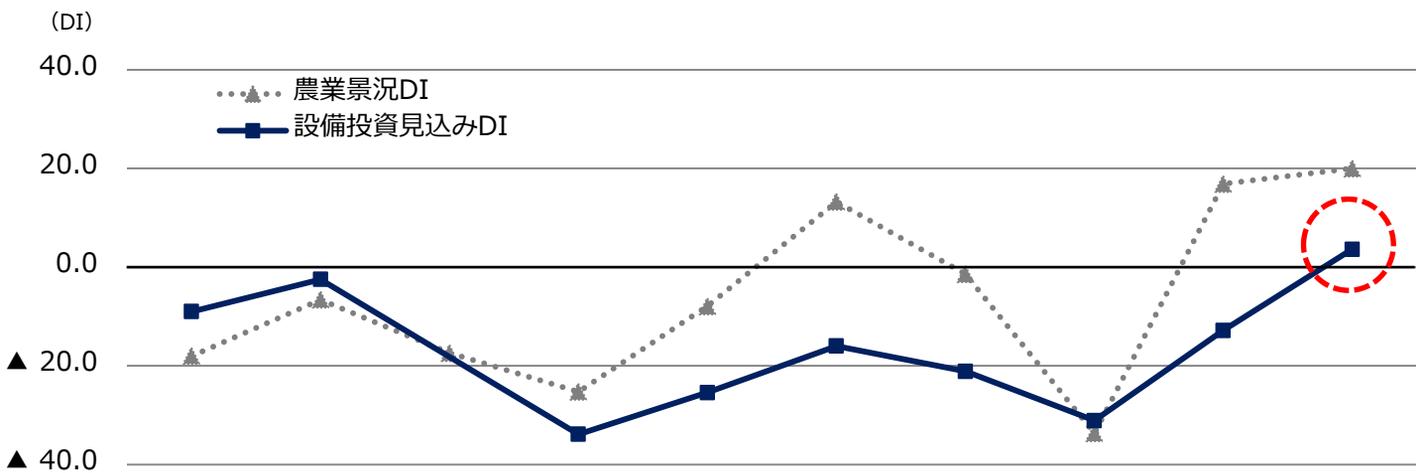
質問4は質問1で「②設備投資を予定していない」と回答した方に伺います。

質問4 設備投資を予定していない理由は(複数回答可)

回答

① 現状規模を維持する方針のため	② 経営規模縮小のため
③ 必要な機能を外部に委託するため	④ 経営が逼迫しているため
⑤ 後継者がいないため	⑥ 周辺環境が都市化したため
⑦ その他(回答欄に理由をご記入ください)	

図 農業景況DIと設備投資見込みDIの推移



	平成19年 (20年見込)	20年 (21年見込)	21年 (22年見込)	22年 (23年見込)	23年 (24年見込)	24年 (25年見込)	25年 (26年見込)	26年 (27年見込)	27年 (28年見込)	28年 (29年見込)
農業景況DI	▲ 18.0	▲ 6.6	▲ 17.4	▲ 25.2	▲ 7.9	13.2	▲ 1.4	▲ 33.7	16.8	20.0
設備投資見込みDI	▲ 9.0	▲ 2.5	-	▲ 33.9	▲ 25.4	▲ 16.0	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 12.8	3.6

(注) DI(Diffusion Index)は、前年と比較して「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたもの。
 設備投資見込みDIは、調査実施当年中の設備投資を「予定している」の構成比から「予定していない」の構成比を差し引いたもの。

表1 業種、地域別の設備投資見込みDI

DI値 小 大

業種	全国	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州
農業全体	3.6	3.6	2.0	▲ 1.4	4.2	▲ 3.2	4.2	8.0	9.0
稲作	3.9	▲ 2.8	1.2	2.4	6.4	44.2	10.4	22.2	19.6
畑作	8.2	8.8	-	5.8	-	-	-	45.4	0.0
露地野菜	1.6	3.8	9.6	▲ 7.6	9.0	▲ 11.2	12.0	▲ 3.0	9.4
施設野菜	▲ 7.4	47.8	▲ 12.8	0.0	50.0	▲ 27.0	▲ 13.4	▲ 18.0	▲ 7.4
茶	▲ 8.6	-	-	4.6	-	20.0	45.4	-	▲ 23.0
果樹	▲ 9.0	11.2	▲ 13.0	▲ 9.4	▲ 37.5	33.4	▲ 31.0	0.0	12.2
施設花き	▲ 17.8	-	▲ 21.4	▲ 8.6	▲ 27.2	▲ 8.4	▲ 33.4	▲ 55.6	▲ 10.4
きのこ	▲ 5.4	-	40.0	▲ 35.0	-	-	-	▲ 25.0	38.4
酪農	11.6	7.4	8.8	4.8	-	12.5	▲ 8.4	29.8	48.8
肉用牛	13.6	3.8	14.2	▲ 9.8	0.0	▲ 47.4	63.6	▲ 5.6	45.2
養豚	24.2	▲ 20.0	9.0	14.2	▲ 25.0	37.5	-	76.4	41.2
採卵鶏	22.6	-	38.4	-	-	▲ 11.2	75.0	44.0	0.0
ブイヤー	19.4	-	▲ 6.6	-	-	-	-	-	20.0

(注) 「-」は一定以上の回答数に到達していないため、数字未公表。

表2 設備投資の検討内容

内 容

(複数回答可)

低  高 (%)

	回答数	内 容										
		農地の取得	農地整備	農業機械	生産施設	選別・貯蔵施設	加工施設	販売施設	雇用対策	環境対策	再生エネルギー利用	その他
農業全体	3,776	27.0	23.5	58.8	37.6	14.0	4.6	2.6	8.4	6.6	2.8	6.4
稲作	1,436	29.5	25.1	71.9	24.2	18.2	3.3	2.0	6.1	1.0	1.7	4.9
畑作	339	25.5	24.0	58.8	48.9	2.2	2.5	1.8	9.8	20.9	5.8	6.2
露地野菜	317	32.4	36.0	74.6	24.8	11.2	1.5	0.0	5.0	1.2	0.6	3.2
施設野菜	274	32.2	26.5	64.4	25.2	17.0	5.4	1.6	11.0	1.3	2.2	6.3
茶	73	19.3	12.4	41.6	58.0	17.5	2.9	3.3	12.0	0.4	1.5	10.6
果樹	166	15.1	23.3	53.4	20.5	6.8	35.6	1.4	9.6	0.0	2.7	6.8
施設花き	88	24.7	39.8	36.7	28.3	22.9	13.3	10.8	9.6	0.6	4.8	9.0
きのこ	42	22.7	18.2	27.3	61.4	14.8	1.1	2.3	13.6	1.1	5.7	12.5
酪農	325	14.3	7.1	26.2	54.8	21.4	4.8	7.1	14.3	2.4	9.5	19.0
肉用牛	270	28.5	14.4	54.1	60.7	3.7	2.2	2.6	8.9	19.6	3.7	5.6
養豚	139	20.9	8.6	26.6	81.3	2.2	0.7	5.8	12.9	38.8	3.6	5.0
採卵鶏	76	9.2	5.3	17.1	69.7	13.2	9.2	6.6	7.9	43.4	2.6	9.2
ブドウ	37	16.2	8.1	24.3	67.6	0.0	18.9	0.0	13.5	16.2	10.8	10.8
北海道	1,114	33.3	37.8	68.4	30.3	11.8	1.3	1.7	6.0	3.7	2.7	4.6
東北	626	31.0	18.7	60.5	35.5	16.5	5.0	2.1	7.2	5.3	3.0	5.4
関東	509	24.4	20.0	48.7	41.5	17.7	5.5	3.1	11.6	8.3	3.5	7.9
北陸	305	17.0	14.4	71.8	28.9	20.7	4.3	3.6	7.9	2.3	1.6	6.6
東海	145	22.8	15.9	46.2	52.4	11.7	6.9	2.8	9.0	11.7	2.1	6.2
近畿	193	18.1	21.8	54.4	38.9	15.5	8.8	5.2	10.4	9.3	1.6	7.8
中国・四国	311	18.0	18.0	57.9	38.9	11.3	6.4	3.9	9.0	10.3	2.6	7.4
九州	573	27.2	14.3	45.2	50.6	10.1	7.2	2.1	10.5	10.6	3.7	8.7

業種別

地域別

(注) 各項目の具体例

農業機械：トラクタ、管理機 等
加工施設：野菜カット場、加工工場 等
環境対策：ふん尿処理 等

生産施設：農舎、温室、畜舎等
販売施設：直売所 等
再生エネルギー利用：太陽光、バイオマス 等

選別・貯蔵施設：選別所、調製施設 等
雇用対策：事務所、研修施設 等

表3 設備投資の目的

目的

低  高 (%)

(複数回答可)

	回答数	設備更新	省力化・生産効率化のため	新技術導入のため(新品種・生産方式等)	規模(生産)拡大のため	流通合理化のため(大口ロット化等)	新たな商品の展開のため	法人化した(または予定している)ため	後継者が就農した(または就農見込)ため	従業員を雇用するため	周辺環境の都市化に対応するため	その他
農業全体	3,717	43.9	50.6	13.5	45.4	3.5	6.4	4.7	10.2	10.8	2.2	5.1
稲作	1,413	47.3	51.1	14.4	45.7	3.8	5.2	5.3	9.6	7.7	1.3	4.6
畑作	328	45.4	60.1	14.6	37.8	1.8	4.0	4.0	10.1	5.5	0.9	5.2
露地野菜	311	35.0	50.8	13.2	50.2	5.8	6.8	6.1	11.9	17.7	1.9	5.5
施設野菜	274	37.2	40.5	13.5	49.3	4.7	8.0	5.5	9.9	17.5	1.1	5.8
茶	71	45.1	54.9	19.7	32.4	4.2	12.7	1.4	5.6	11.3	1.4	5.6
果樹	164	40.2	48.8	21.3	37.2	2.4	17.7	3.7	11.6	15.2	2.4	1.8
施設花き	87	34.5	42.5	13.8	41.4	5.7	9.2	3.4	11.5	14.9	0.0	8.0
きのこ	41	41.5	39.0	12.2	41.5	4.9	19.5	2.4	9.8	19.5	4.9	4.9
酪農	319	44.5	55.5	11.3	38.9	0.9	3.8	4.7	12.5	11.3	3.4	3.8
肉用牛	265	36.6	45.3	5.7	59.6	1.1	3.0	5.3	13.2	12.1	2.6	4.2
養豚	139	51.8	52.5	13.7	55.4	4.3	2.9	2.2	3.6	10.8	11.5	4.3
採卵鶏	76	61.8	46.1	11.8	25.0	6.6	6.6	1.3	2.6	10.5	7.9	10.5
ブライヤー	37	43.2	51.4	2.7	43.2	0.0	2.7	8.1	10.8	5.4	2.7	13.5
北海道	1,085	45.8	57.2	13.8	42.8	2.7	3.4	4.6	10.9	7.7	1.0	4.8
東北	617	41.8	49.9	16.0	49.4	3.6	6.0	4.9	12.5	8.9	1.3	5.0
関東	501	40.1	47.7	12.2	48.5	4.2	7.8	4.2	7.8	14.2	3.6	4.2
北陸	302	50.0	47.0	15.6	43.0	4.3	7.0	4.0	7.6	8.9	2.0	6.3
東海	145	44.1	43.4	13.8	45.5	2.1	6.9	6.9	13.1	15.9	2.1	3.4
近畿	193	41.5	47.7	11.9	44.6	5.2	10.9	4.1	10.9	14.0	3.1	4.7
中国・四国	307	47.6	44.6	11.4	44.0	4.6	9.8	3.3	5.9	13.7	2.9	4.9
九州	567	41.1	49.2	11.6	45.7	3.4	7.6	5.6	11.3	12.9	3.7	6.9

業種別

地域別

表4 設備投資の目的と検討内容

(複数回答可)

内 容

低  高 (%)

	回答数	農地の取得	農地整備	農業機械	生産施設	選別・貯蔵施設	加工施設	販売施設	雇用対策	環境対策	再生エネルギー利用	その他
設備更新	1,630	25.2	24.5	68.4	39.4	14.3	4.0	2.2	7.5	7.5	2.1	5.0
省力化・生産効率化のため	1,881	27.0	30.2	67.7	38.7	16.1	4.0	1.6	8.2	7.6	3.5	4.0
新技術導入のため (新品種・生産方式等)	501	31.1	34.7	66.5	40.9	21.6	9.6	4.4	12.6	7.4	6.2	3.4
規模(生産)拡大のため	1,688	43.3	26.6	57.0	48.1	16.8	4.6	2.5	10.1	7.3	3.0	4.4
流通合理化のため (大口出荷等)	131	40.5	31.3	54.2	42.7	51.1	10.7	7.6	21.4	7.6	8.4	6.1
新たな商品の展開のため	238	25.6	30.7	41.6	44.1	20.2	32.8	16.4	16.8	3.8	7.1	4.6
法人化した (または予定している)ため	173	43.4	31.2	64.2	46.2	26.0	3.5	6.4	20.8	6.9	6.4	4.0
後継者が就農した (または就農見込)ため	379	39.6	32.5	60.4	52.2	15.6	5.5	4.5	11.1	7.1	4.5	5.3
従業員を雇用するため	402	36.8	31.1	56.5	46.3	20.4	8.7	8.0	50.5	9.0	7.2	4.5
周辺環境の都市化に対応するため	82	30.5	28.0	46.3	50.0	11.0	4.9	8.5	15.9	48.8	14.6	6.1
その他	191	20.4	15.2	33.0	27.2	11.0	3.1	3.7	4.7	5.8	3.7	48.7

目的

(注) 各項目の具体例

農業機械：トラクタ、管理機 等

加工施設：野菜カット場、加工工場 等

環境対策：ふん尿処理 等

生産施設：農舎、温室、畜舎等

販売施設：直売所 等

再生エネルギー利用：太陽光、バイオマス 等

選別・貯蔵施設：選別所、調製施設 等

雇用対策：事務所、研修施設 等

表5 設備投資しない理由

理由

(複数回答可)

低  高 (%)

	回答数	現状規模を維持する方針のため	経営規模縮小のため	必要な機能を外部に委託するため	経営が逼迫しているため	後継者がいないため	周辺環境が都市化したため	その他
農業全体	3,135	79.0	4.6	6.5	12.7	17.3	1.3	12.6
稲作	1,192	77.4	3.9	8.7	14.8	18.3	1.4	14.7
畑作	259	76.1	1.5	8.5	24.3	20.8	1.2	9.3
露地野菜	273	76.6	5.5	4.0	12.1	17.9	1.5	15.0
施設野菜	283	85.2	3.2	4.6	4.6	14.8	1.8	10.2
茶	75	81.3	2.7	5.3	25.3	10.7	0.0	6.7
果樹	179	80.4	7.8	2.2	11.7	14.5	0.6	12.3
施設花き	120	85.0	4.2	1.7	11.7	13.3	0.0	10.8
きのこ	43	86.0	4.7	0.0	16.3	11.6	0.0	11.6
酪農	222	78.4	5.9	13.5	8.1	21.6	1.4	9.0
肉用牛	179	80.4	5.6	2.8	5.0	12.3	1.1	12.3
養豚	73	74.0	4.1	1.4	4.1	16.4	8.2	16.4
採卵鶏	43	81.4	9.3	2.3	7.0	9.3	2.3	14.0
ブリーダー	21	90.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
北海道	934	78.8	3.6	10.6	17.9	23.8	0.2	10.7
東北	526	78.7	4.8	7.6	9.9	15.8	1.1	13.1
関東	462	79.2	4.8	3.0	11.5	13.6	1.5	11.7
北陸	253	74.7	7.1	3.6	11.5	13.4	2.4	22.1
東海	137	79.6	3.6	2.2	8.0	15.3	4.4	8.8
近畿	163	80.4	3.1	4.9	11.0	11.0	3.1	16.0
中国・四国	244	80.7	3.7	4.5	9.8	13.1	1.2	12.3
九州	416	80.3	6.0	5.0	10.3	16.3	1.7	11.3

業種別

地域別